

## 平成 29 年度プリムラ利用状況 平成 29 年 4 月 1 日～30 年 3 月 31 日

平成 29 年度 プリムラ利用状況													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日	20	20	22	20	17	20	21	20	20	18	19	21	238
補助	150	136	167	152	128	138	142	130	147	135	147	147	1719
自主	0	2	2	3	1	1	1	2	0	2	2	0	16
合計	150	138	169	155	129	139	143	132	147	137	149	147	1735

### 平成 30 年 3 月

3月の利用者数は147名で、3月の月間記録のタイ記録となりました。年齢別では1才児の35名(24%)、2才児の23名(16%)、5才児の22名(15%)でした。

疾患別順位ではインフルエンザの49名(内訳; A型26名、B型33名)(33%)で、先月からは半減しました。流行は終息に向かっています。上気道炎は43名(29%)、胃腸炎は11名(7%)でした。

平成29年度の利用者合計は1,735名で開設以来最多になり、年間利用率も90%を超えています。上位5疾患は、上気道炎(33%)、インフルエンザ(21%)、咽頭炎(10%)、胃腸炎(8%)、喘息性気管支炎(4%)でした。

プリムラは平成16年4月開設以後14年になりました。平成30年4月からは15年目を迎えます。保育園も増え、利用希望も年々増加しています。残念なことは、昨年度は利用確定後の無断キャンセルは年間で30件ありました。前日利用が確定していて、当日利用しない場合は、必ず当日の朝7時までにキャンセルをしてください。またキャンセル待ちの場合でも、利用しない場合は、必ずキャンセルをお願いいたします。キャンセル待ちの方に早く連絡メールが届くように、早めの処理をお願いいたします。

### 平成 30 年 2 月

1月の利用者数は149名で、2月の月間記録を更新しました。年齢別順位の1位は3才児の38名(26%)、2位は6才児の28名(19%)、3位は4才児の17名(11%)です。年長児の割合が多いのは、インフルエンザの影響です。

疾患別順位の1位はインフルエンザの101名(58%)で、内訳はA型32名、B型69名です。2位は上気道炎の28名(19%)、3位は咽頭炎の6名(4%)でした。インフルエンザの流行がピークに達しており、先月の1.3倍に増えました。

プリムラでは年4回、テーマを決めて製作活動をしています。春一番は「ひなまつり」ですが、製作活動に合わせて壁面の飾りもタイムリーに変えています。明るく、楽しい雰囲気作りに心がけています。



### 平成 30 年 1 月

1月の利用者数は137名で、1月の月間記録を更新しました。年齢別順位の1位は3才児の26名(19%)、2位は4才児の24名(18%)、3位は5才児の24名(18%)で、先月の順位と全く変わりました。インフルエンザの影響です。

疾患別順位の1位はインフルエンザの79名(58%)で、内訳はA型32名、B型47名です。2位は上気道炎の24名(18%)、3位はヒトメタニューモウイルスの6名(4%)でした。インフルエンザが大流行しており、先月の1.8倍に増えました。

### 平成 29 年 12 月

12月の利用者数は147名で、12月の月間記録を更新しました。年齢別順位の1位は1才児の42名(29%)、2位は2才児の20名(14%)、3位は3才児の18名(16%)でした。6才以上が42名(29%)もおりますが、そのほとんどがインフルエンザでした。

疾患別順位の1位は上気道炎の46名(31%)、2位はインフルエンザの44名(30%)、3位は胃腸炎の20名(14%)でした。アデノウイルス感染症、溶連菌感染症なども含め、全体の88%が呼吸器系疾患でした。

11月はインフルエンザの病児はおりませんでした。12月に一挙に増えました。例年になく早いインフルエンザの流行が始まっています。

## 平成 29 年 11 月

11 月の利用者数は 132 名で、11 月の月間記録を更新しました。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 42 名（32%）、2 位は 3 才児の 23 名（17%）、3 位は 2 才児の 22 名（16%）でした。

疾患別順位の 1 位は上気道炎の 66 名（50%）、2 位は胃腸炎の 16 名（12%）、3 位は咽頭炎の 13 名（10%）でした。これらの疾患にアデノウィルス感染症、溶連菌感染症などを加えると、気管支系疾患が全体の約 77% を占めました。

## 平成 29 年 10 月

10 月の利用者数は 143 名で、10 月の月間記録を更新しました。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 46 名（32%）、2 位は 3 才児の 29 名（20%）、3 位は 6 才児の 21 名（15%）でした。

疾患別順位の 1 位は上気道炎の 54 名（38%）、2 位は咽頭炎の 23 名（13%）、3 位は流行性耳下腺炎の 15 名（10%）でした。流行性耳下腺炎はやや減少しました。

病児が保育室に入室すると、年齢や病状に応じて様々な遊びを始めます。年長組くらいの年齢の子どもは LaQ が大好きで、部品点数が多い大作にも取り組みます。機関車は 6 才の女児が 2 日間頑張って完成したものです。また、ブルドーザは 6 才の男児が 1 日で完成したのですが、集中力と根気が必要です。



## 平成 29 年 9 月

9 月の利用者数は 139 名で、19 ヶ月続いた月間記録の更新は終了となりましたが 100 名以上の利用者数は 20 ヶ月続いています。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 50 名 (36%)、2 位は 2 才児の 22 名 (16%)、3 位は 4 才児の 17 名 (12%) で同じ順位が 3 ヶ月続いています。

疾患別順位の 1 位は上気道炎の 67 名 (48%)、2 位は流行性耳下腺炎の 18 名 (13%)、3 位は咽頭炎の 17 名 (12%) でした。流行性耳下腺炎は学校感染症 2 種ですので隔離室へ入室します。手足口病は 1 名に激減しました。

## 平成 29 年 8 月

7 月の利用者数は 129 名で、8 月の月間記録を更新しました。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 55 名 (43%)、2 位は 2 才児の 28 名 (22%)、3 位は 4 才児の 12 名 (9%) で 7 月と同じ順位でした。

疾患別順位の 1 位は上気道炎の 39 名 (30%)、2 位は咽頭炎の 24 名 (19%)、3 位は手足口病の 18 名 (14%) でした。手足口病は全国的にも大流行しているようですが、7 月に比べ急減しました。

## 平成 29 年 7 月

7 月の利用者数は 155 名で、昨年 7 月と同じ利用者数でした。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 73 名 (47%)、2 位は 2 才児の 35 名 (23%)、3 位は 4 才児の 10 名 (6%) でした。

疾患別順位の 1 位は手足口病の 56 名 (36%) でした。全国的にも大流行が喧伝されており、当保育室でも急増しました。56 名のうち 1 才児が 36 名で、その 2 / 3 を占めました。2 位は上気道炎の 40 名 (26%)、3 位は咽頭炎の 24 名 (15%) でした。

## 平成 29 年 6 月

6 月の利用者数は 169 名で、プリムラ創設以来最多の利用者数になりました。連日、定員一杯の日が続きました。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 100 名 (59%) で突出しています。2 位は 2 才児の 24 名 (14%)、3 位は 3 才児の 22 名 (13%) でした。

疾患別順位の 1 位は上気道炎の 98 名 (58%) で突出しています。このうち 64 名が 1 才児でした。2 位は感染性胃腸炎の 19 名 (11%)、3 位はアデノウィルス感染症の 13 名 (13%) でした。なお 2 名ですが手足口病の病児がいました。

## 平成 29 年 5 月

5 月の利用者数は 138 名で、これまでの 5 月の最多記録 112 名を更新すると共に 100 名以上が 16 ヶ月連続で続いています。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 50 名 (36%)、2 位は 5 才児の 17 名 (12%)、3 位は 2 才児の 15 名 (11%) でした。

疾患別順位の 1 位は上気道炎の 34 名 (25%)、2 位は水痘の 31 名 (22%)、3 位は感染性胃腸炎の 23 名 (17%) でした。インフルエンザは流行が終息し急減しましたが、なお 12 名 (9%) もおりました。昨年の 11 月から 6 ヶ月間も流行が続きました。インフルエンザと水痘は学校伝染病 2 種のため、それぞれ隔離室での保育になります。

## 平成 29 年 4 月

4 月の利用者数は 150 名で、これまでの月間最多記録 117 名を更新すると共に 100 名以上が 15 ヶ月連続で続いています。年齢別順位の 1 位は 1 才児の 33 名 (22%)、2 位は 3 才児の 28 名 (19%)、3 位は 4 才児の 22 名 (15%) でした。最多の 3 才児のうち、20 名がインフルエンザでした。

疾患別順位の 1 位は今月もインフルエンザの 77 名 (51%) ですが、先月の 64 名から 13 名も増えました。このうち A 型が 17 名、B 型が 60 名で B 型の割合が増えています。全国的には流行は終息に向かっていますが、暫くは続きそうです。2 位は上気道炎の 28 名 (19%)、3 位は水痘の 13 名でした。インフルエンザと水痘は学校伝染病 2 種のため、それぞれ隔離室での保育になります。合計 3 部屋での保育になり、職員も分散配置になります。